

# ドラえもんは何日間「帰ってこなかった」のか

京大F同ファンの一人

## はじめに

『帰ってきたドラえもん』— それは藤子F不二雄が生み出した感動の名作である。ドラえもんが大好きな人は勿論、ドラえもんをあまり知らない人であっても見たこと、そして涙したことがあるのではないだろうか。話の内容を簡単に説明すると、ドラえもんが未来の世界に帰ってしまうが、ドラえもんの道具で現代世界に帰ってくるというものである。(少し簡単すぎるか…?) では、ここで一つの疑問が生まれる。ドラえもんは何日間未来の世界に帰っていたのだろうか。映画では30分に収めなければいけないために未来に帰ってすぐ現代世界に帰ってきたようにも見える。しかしあれだけの涙を流してのび太と別れたので、それほどすぐ帰ってくるわけもないとも考えられる。ここではその期間について真面目に考えていきたいと思う。

## 『帰ってきたドラえもん』とは

おそらく大人数の人が見たことがある『帰ってきたドラえもん』は1998年3月7日に『ドラえもん のび太の南海大冒険』と同時上映公開された映画作品であると思われる。この作品は元々、てんとう虫コミックス『ドラえもん』7巻に収録されている作品「帰ってきたドラえもん」および同6巻収録「さようなら、ドラえもん」が原作である。また1981年に一度テレビアニメ『ドラえもん』にて同タイトルにて放送されていて、その反響が大きかったため17年の時を経て映画でリメイクされたのである。この考察とは関係ないが、この映画をリアルタイムに映画館で見た人は、この作品を見た後に大長編を見ることになる。果たして大長編本編は頭に入ってきたのだろうか…少なくとも筆者は不可能であろう。

## 『帰ってきたドラえもん』と桜

この映画のポイントになるもの、それが桜である。映画内で桜の描写が多く見られそれらが美しく描かれている。のび太の「桜も、もう終わりだね。」のセリフで桜が再び開花するシーンは、この作品の中でも一二を争う名シーンである。とここで大事なことを一つ思い出しておきたい。ドラえもんが帰ってきた日だけは明確なのである。というのも、エイプリルフールにのび太はジャイアンとスネ夫に騙され、それにウソ800を使って復讐した結果、ドラえもんが帰ってきたのである。すなわちドラえもんが帰ってきた日はエイプリルフールの4月1日である。

この映画はドラえものの「桜が見られて良かった。」というセリフから幕を開ける。このセリフは恐らく「(未来の世界に帰らなければいけなかったけど、最後にこの時代の)桜が見られて良かった。」ということである。また、帰る時期に桜が咲くことが間違いなかったらこのようなセリフは口にしないと考えられる。よって帰る日(以下Xデー)が迫っているが、なかなか桜が開花しない。残念だなあ、最後にもう一回この時代の桜が見たかったのになあ。という心境から放たれた言葉であると推測できる。何が言いたいのかというと、Xデーは桜の開花日以降だということである。しかしここで一つ問題が生じる。Xデーの桜は開花した直後に全く見えないのである。最初のシーンではあまり桜が見えないので判断しにくいだが、夜に二人がシーソーで語らうシーンではほぼ満開の桜の様子が見られる。ということは先ほどの推論は間違っていたと言える。ここまでのことを考えると、恐らくドラえもんは桜を見たかっただけではなく、満開の桜を見たかったのだろう。それならつじつまが合う。

### Xデーはいつなのか

それでは詳細を見ていこう。スネ夫の住所である、東京都練馬区月見台すすきヶ原3-10-5からのび太の活動地域は東京であると仮定する。この映画が公開された1998年の桜の開花状況を見てみよう。1998年の東京の桜の開花日は3月27日、満開日は同月31日となっている。これでは、たとえXデーが開花日であったとしても3日しか未来に居なかったことになる。では一年前の東京の開花日を見てみると3月21日、満開日は30日となっている。これだと、満開とまではいかないが開花日からエイプリルフールまで11日ある。となると、開花日から4~5日後がベストなのではないだろうか。すなわちXデー候補①は3月25日 or 3月26日であるとしよう。

ただ、もう一つ考えなければいけないことがある。それはのび太の「桜も、もう終わりだね」の発言である。エイプリルフールに桜がもう散り始めているということは開花はもっと早いのではないかということである。桜は開花から満開までが1週間、そこから散りきるまでが1週間程度だと言われている。従って4月1日は開花から10日後くらいということが想像できる。となると開花日は3月22日くらいが予想できる。Xデー候補②は開花日から4~5日後としたので3月26日 or 3月27日であるとしよう。

ここでXデー候補①と②で重なっている1997年3月26日。これがXデー、すなわちドラえもんが帰った日なのである可能性が高い。ということはドラえもんが現代世界に居なかった日は27日28日29日30日31日の5日間ということになる。

## 終わりに

いかがだったでしょうか。ドラえもんとのび太はあの涙の別れからなんとたった5日後(ドラえもんは未来の世界でもっと生活していたとも考えられるが…)に涙の再会を果たしているのである。しかし、これはたった5日と捉えるのではなく二人の絆は5日離れるだけでも辛いくらい堅いものであると捉えて欲しい。ということで、これからは『帰ってきたドラえもん』は『5日で帰ってきたドラえもん』に、『さようなら、ドラえもん』は『5日間だけさようなら、ドラえもん』に頭の中で変換してみてもどうだろうか? 何ともふざけたタイトルになってしまうが、それでも映画を見ると号泣してしまうに違いない。

